

OFG

**大山崎ふるさと
ガイドの会だより**

第 1 7 2 号



オオヨシキリ
(桂川河川敷)
4班 西木 豊 撮影

発行日 令和4年9月10日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 森脇 剛
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

大山崎町の魅力を発信しよう！

元大山崎町歴史資料館館長 林 亨



今年3月下旬27年振りに長野県大町市にある大町山岳博物館を訪れました。目的はアルピニスト加賀正太郎に会いに行くためでした。

正太郎は明治43年に日本人として初めてヨーロッパアルプスの4000メートルを超える高峰登頂に

成功した先駆けですが、この時使用した装備一式が後年山岳博物館に寄贈され展示されています。

27年前というと平成7年にあたりますがアサヒビール大山崎山荘美術館の開館が翌年に迫り、私の勤務する大山崎町歴史資料館では特別展「大山崎山荘と蘭花譜」展を開催し美術館の開館をPRすることにしました。その展示の目玉として山岳博物館から一式を借り受け展示したのです。今回は正太郎がどのような経路でアルプスを目指し偉業を成し遂げたのかお話をしましょう。

彼は東京高等商業学校在学中に日本アルプスの登山に度々出かけていました。日本アルプスでは飽き足らず本場のアルプスに登りたいと思うようになり卒業の前年明治43年8月、日本海を渡りシベリア横断鉄道でヨーロッパに向かいました。鉄道を乗り継いでドイツミュンヘンに到着した彼は登山用具一式を買い求め、どの山に登頂するか思案しましたがドイツ国内には正太郎の目指す4000メートル級の高峰はありません。そこで8月16日ミュンヘンを発ちスイスチロール地方に向け出発し、19日にチューリッヒに着きま

した。20日ルツェルンに向かい、21日に風光明媚なインターラーケンに到着しグランドホテルユングフラウに宿泊しました。部屋に入った正太郎は窓越しに見えた山に目を奪われました。その山こそユングフラウでした。



大町山岳博物館
写真中央が正太郎の
登山用具の展示です

この山に登ろう。彼は決心しました。そこで早速山岳ガイドを雇い23日朝、山岳鉄道に乗ってラウターブルンネンに。そこでユングフラウ鉄道に乗り換えクライネシャイデック経由真っ暗なトンネル内のアイスメア駅(3160m)に着きました。ここから登山の開始です。今日はあいにくの天気で雪原に出るとあたり一面雲に覆われ真っ白です。山岳ガイドに導かれこの日の宿泊場所ベルグリのクラブハットに夕刻無事到着しました。翌8月24日朝5時快晴の中、山頂に向け登頂開始です。途中あまりの寒さで何度も挫折しそうになりましたが午前9時45分4158メートルのユングフラウ山頂に日本人として初めて登頂したのです。

大町山岳博物館では正太郎が使用した装備一式を「日本人によるヨーロッパアルプス登頂の先駆け」というタイトルで展示が行われ今も展示が続けられています。皆さんも長野県に行かれることがありましたら是非大町山岳博物館を訪れていただき正太郎の偉業を体感していただきたいと思います。

7月～8月の活動実績	
1. 主なガイド	
・7月31日(日) ボーイスカウト高槻第7団	6名
2. 会の行事など	
・7月21日(木) ふるさと案内人養成講座 3回目講義	
・8月3日(水) 大山崎町人権境域夏期研修会 会長・副会長	

活動予定	
1. 主なガイド	
・10月7日(金) NPO大阪府北部コミュニティカレッジ	
・10月10日(月) 鏡田おしゃべり会出前ガイド	
・10月15日～11月27日の土・日・祝 定点ガイド	
・10月22日(土) 秋の天王山ウォーキング	
2. 行事予定	
・9月15日(木) ふるさと案内人養成講座 現地学習会	
・9月23日(金・祝) OFG 歴史講演会	
「豊臣秀吉の城づくりー山崎城から京都新城まで」	
○アサヒビール大山崎山荘美術館	
9月17日(土)～12月25日(日)	
企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本」	

7-8月 ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合計	
7-8月	1件	6人	38件	90人	0件	0人	0件	0人	39件	96人
4年度累計	8件	153人	133件	261人	1件	20人	346件	1,023人	488件	1,457人

島本の小学生 6 年生をガイド

5月20日(金)、島本町立第4小学校6年生99名を、ガイド9名で担当しました。例年であれば、大山崎や長岡京の小学生、それも大体4年生が中心でした。今回、島本のしかも、6年生ということで、少しの緊張感と期待感が入り混じり、どういう引率になるかなと思っていました。

9時に離宮八幡宮で合流。今回は特別に、離宮八幡宮の津田宮司が、直接に挨拶と説明を行いました。宮司さんの説明はわかりやすく、児童は、やや緊張した面持ちで、しっかり聞いていました。

宝積寺では、閻魔堂へ案内され、お寺の方から説明がありました。

旗立松では、2枚の陶板画で山崎合戦の説明を行いました。昔、自分たちの故郷で大きな戦いがあったことに感心していました。

6年生は、来年卒業するというので、卒業アルバムの写真を撮るために、写真屋さんが同行していました。頂上についてから、私どもガイドも一緒に写真を撮りました。

その後は、思い思いに弁当を広げ、美味しそうに

食べていました。食後は、のびのびと遊んでいました。コロナで出かけることもままならない生活が続いたのかなあと感じた次第です。

山崎聖天(観音寺)から瓦窯跡公園へ下りましたが、子供たちは瓦窯跡公園へ到着するとすぐに一斉に走り回り、瓦窯跡の説明の機会はなくなりました。その一方で、2班の森さんが、子供たちにきちんと説明している姿に感心しました。

今回、私は7名の6年生を引率しましたが、そのエネルギーにやや圧倒される感もあり、正直疲れしました。でも、心地よい疲れでした。別れ際、一人の女の子から手紙をいただきました。そこには、「ボランティアの人に、今日は、天王山について教えてくれてありがとうございます。とても勉強になりました。山を登るのも大変なのに、子供の面倒を見てくれてありがとうございます。」と書いてありました。こういうことがあるから、小学生のガイドは魅力があり、楽しいです。

(2班 石橋 克己 記)

～わたし こんなん しています～

みんな元気でラジオ体操

夢ほたるの公園で天王山を眺めながらラジオ体操を始めてはや8年になりました。この3年間、緊急事態宣言で公園が閉鎖された時以外は、寒い時は風をよけ、暑い時は日陰を求め、朝9時よりほとんど毎日実施しています。多い時は10名ほど参加されますが、少ない時は2名でも実施しています。参加者の皆さんは、体操をする事で一日のリズムができ快適に過ごされています。

又、行き帰りの道中色々な情報交換も出来ると、皆さんには喜んで頂いています。4年ほど前になりますか「ご当地体操を作りたい」と言う事から大山崎の人達で出来上がったのが、「OH!やまぎき体操」です。この音源をラジオ体操の後に流して頂けるよう町にお願いをしたところ、スムーズに実現しました。

今日も、「OFGの皆さんは体力づくりの為に登山をされているだろうな」と思いを馳せながら体操を終え帰ってきたところです。お気軽にご参加下さい。

(3班 三枝春美 記)

桂川河川公園の管理業務

大山崎町が管理をする公園で場所は桂川右岸高水敷にあり、OFGの水辺の散策の定点ガイドポイントの、狐の渡し跡です。

私はここの管理を隔週交代で委託されています。

公園が出来たのは古く1977年で何回となく洪水で水に浸っています。

施設は軟式野球場、芝生広場、トラック、テニスコート、駐車場などがあり、移動式設備は給水タンク、管理小屋、トイレが駐車場に置いてあります。

直接指示は体育館で、役場では教育委員会生涯学習課と繋がっています。

シルバー人材センターが役場関係の仕事を受けた中の一つで、私が勤めて約三年になりました。

業務内容は小泉川右岸堤防から公園の門扉の開閉と野球場やテニスコートの利用者への用具貸与・返却で土・日が中心です。

野鳥・小動物・昆虫・竹林・草花など自然がいっぱいの中で町と関わりながら働けることがOFGと共に私の喜びです。

(4班 嶋田 誠 記)

天王山シニア倶楽部出前ガイド



5月25日に中央公民館で開いた天王山シニア倶楽部が主催する講演会で参加された20名の皆様に、出前ガイドを行いました。3班有志が天王山のカエルなど4演目を1時間余り演技しスライドで披露しました。一般ガイドなら流暢に話が出るベテラン揃いですが、演技を伴う話は至って不得手な班員が多く、何回も稽古を重ねて、やっと本番を迎え、皆様方に楽しんで頂きました。

各自が受け持った役を精一杯演じ、所詮学芸会風の出来栄でしたが、関係者からチームワーク良く上手だったとお褒めの感想をもらって、内心安堵しております。参加された皆様方は大山崎の昔話や社寺、文化財、天王山の見所などをスクリーンでご覧になって、この町の歴史を知り、良さを再認識されたことでしょうか。これからもお客様から面白かった、楽しかったと言われるような顧客満足のガイドをやりたいと思います。

(3班 野尻裕三 記)

あちこち学習山歩 60 小泉川から光明寺へ



6月27日、13時30分に西山天王山駅を出発して、小泉川を上流へと歩きます。伊賀寺遺跡、西山田遺跡の説明を加藤文則さんから聞いて、「縄文中期から弥生時代は多くの集落が存在していたこと」や「その後の古墳時代から長岡京時代にはこの地域は重要かつ繁栄していたこと」を学べたことは貴重でした。

小泉川は整備されていて河原には美しい歩道がつき、川を渡る風の涼しいこと！道中に咲く花々を愛でつつみんなでワイワイ歩きます。私は久しぶりの参加でしたので暑い中でも楽しく歩くことができました。

小泉川と別れ西代山里公園で休憩をして、今度は寂照院、走田神社と山すそを歩き、西山体育館までとにかく暑い。木陰に入るとホッとします。

体育館を出て西山公園を過ぎ、女人安産？子孫繁栄のご利益があるといわれる子守勝手神社に着きました。皆でしっかりお参りをして山道を光明寺へ向かう。日はまだ高いが今日は光明寺で解散しました。

(4班 北 美千代 記)